

民主主義打ち砕く安倍政権に抗議

原爆ドーム前で抗議集会

広島

ストップ戦争法に石川実行委員会（石川委員長）が呼びかけている、戦争法案の反対を求める連日の行動で、17日の広島市中区原爆ドーム前で約800人の集会には約800人が参加しました。デモ行進には運動服の男女が加わり、9人が参加し、日ごとにくらんでいます。

この日のデモは、市中で18日に700人が参加した人文字の集会には約800人が参加しました。デモ行進には運動服の男女が加わり、9人が参加し、日ごとにくらんでいます。



原爆ドーム前を出発するデモ隊=17日、広島市中区

院特別委員会が強行採決された直後、石川実行委員長は「民主主義をハンマーで打ち砕いていることに気づかない安倍政権に、満身の怒りを込めて抗議する」とあいさつ。広島大の女子学生（19）は「国の果たすべき役割は、日本人の命を危険にさらすことではなく、守ることだ」と訴えました。

絶対にあきらめない

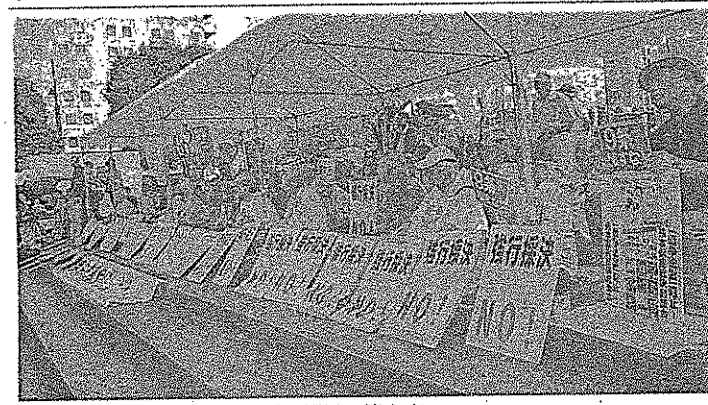
熊本

戦争法案の採決強行

を許さないと熊本市で17日、市民たちが緊急行動をしました。午後

3時から座り込みを開始し、午後6時からは集会を開催。集会後は300人が「子ども、未来、平和を守れ」とアーケード街をデモ行進するなど、終日アピールしました。座り込みでは超党派の熊本市議らがリレートーク。日本共産党の山部洋史市議は「戦争法案を許さないという世論を広げに広げ、政権を包囲して法案を必ず撤回させよう」と呼びかけました。集会では、弁護士や共産、民主、社民、新社会の各党の代表が連帯あいさつしました。

法案に反対する「パパとママの会」を呼びかけた木原望さん(40)は、熊本市東区は、「強行されても、戦争法を廃止させるまで絶対にあきらめない」と力を込めました。山梨力さん(立教大学教授)は、「法案が不安で仕方なく夜も目が覚めると断える母親が出ているなど、すでに被害が出ている。反対の声をあげよう」と呼びかけました。歯科医師の足立了平さん(神戸常盤大学教授)、内科医の伊藤真美さん(安保関連法案に反対する医療介護福



抗議の座り込みをする参加者=17日、熊本市



廃案までがんばりぬくと決意を語り合った集会=17日、国会内

保団連 廃案へ医療者決意

「いのちを守る戦争法案に反対します」一全国保険医団体連合会(保団連、住江憲男会長)は17日、国会内で安倍法案に反対する医師・歯科医師の活動報告集会を開き、国民の命を守る医療者として「結束して廃案までがんばりぬこう」と決意を固めました。200人が参加。飯田哲夫副会長が、7月1日から呼びかけた安倍反対緊急アピール賛同者が4348人に達したと報告しました。幅広い医療関係者が報告。学生と一緒に連日、国会に行っているという精神科医の香山リカさん(立教大学教授)は、「法案が不安で仕方なく夜も目が覚めると断える母親が出ているなど、すでに被害が出ている。反対の声をあげよう」と呼びかけました。歯科医師の足立了平さん(神戸常盤大学教授)、内科医の伊藤真美さん(安保関連法案に反対する医療介護福

9/18 石川

社関係者のみならず、日本共産党の小池晃参院議員が情勢報告し、田村智子参院議員、堀内照文衆院議員があいさつ。民主、維新の議員も参加しました。